

「ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム
(ゲノム医療実現推進プラットフォーム・先端ゲノム研究開発)」
研究開発課題 中間評価結果

研究開発課題名	マルチオミックス連関による循環器疾患における次世代型精密医療の実現
代表機関名	東京大学
研究開発代表者名	小室 一成
全研究開発期間	平成30年度 ～ 令和9年度 (予定)

【評価コメント】

バイオバンクや各種コホート研究と連携し、マルチオミックス情報を加えることにより、循環器疾患における遺伝的要因や、分子病態解析による循環器疾患の層別化等で多くの重要な成果をあげている。特に心筋症での遺伝子変異による層別化やDNA損傷に定量化による層別化による予後予測、さらに、心房細動のマルチオミックス解析を用いた遺伝的リスクスコアの性能向上などの評価は高い。今後、循環器疾患全般において精密医療の社会実装という点でも成果を上げられることが期待できる。

以上